東信州 中山道を歩く

歩いて、触れて。
Higashi-Shinshu NAKASENDO

軽井沢宿　八幡宿
沓掛宿　望月宿
追分宿　茂田井間の宿
小田井宿　芦田宿
岩村田宿　長久保宿
塩名田宿　和田宿

東信州 中山道
歩いて、触れて。
Higashi-Shinshu NAKASENDO

各宿場に関してのお問合せは

［軽井沢宿・沓掛宿］
軽井沢町　観光経済課　観光商工係　TEL : 0267-45-8579

［追分宿］
軽井沢町　観光経済課　観光商工係　TEL : 0267-45-8579

［小田井宿］
御代田町　産業経済課　商工観光係　TEL : 0267-32-3111

［岩村田宿・塩名田宿・八幡宿・望月宿・茂田井間の宿］
佐久市　観光交流推進課　観光係　TEL : 0267-62-3285

［芦田宿］
立科町　産業振興室　TEL : 0267-56-2311

［長久保宿・和田宿］
長和町　産業振興課　商工観光係　TEL : 0268-88-2345

長野県地域発元気づくり支援金活用事業

東信州 中山道

～軽井沢宿から和田宿へ～

江戸五街道の一つ「中山道」は六十九の宿場を持ち、道中木曽を通過することから「木曽街道」とも呼ばれ、信濃には二十六の宿場があった。

江戸からのその道中は碓氷峠が入口となり、その先雄大な浅間山を望みながら軽井沢、沓掛を進む。

善光寺へと続く北国街道との分去れとなる追分、姫君に愛された小田井。

佐久平の盆地をゆるゆると行けばかつての城下町岩村田。

千曲川のせせらぎを渡る塩名田、良質な米の産地、五郎兵衛新田の近い八幡。

駒の里として歌人に詠まれた望月、造り酒屋の美酒を味う茂田井。

峠には松の並木が続く芦田、堅町と横町が直角に交わる長久保。

やがて中山道最高地点、標高一六〇〇メートルの難所が迫る和田、その和田峠を越えれば諏訪湖へと下りが続く。

これらさまざまな様相を見せてくれる信濃の東側、軽井沢宿から和田宿までの十一宿を「東信州中山道」として親しみながら旅してもらいたい。

目次

1 東信州中山道
3 軽井沢宿
5 沓掛宿
7 追分宿
9 追分の分去れ
11 小田井宿
13 岩村田宿
15 塩名田宿
17 八幡宿
19 望月宿～茂田井間の宿
21 芦田宿～笠取峠
23 長久保宿
25 下和田
27 和田宿
29 和田峠1・2

茂田井間の宿

中山道（京都）

三条大橋
大津
草津
守山
武佐
愛知川
高宮
鳥居本
番場
醒井
柏原
今須
関ヶ原
垂井
赤坂
美江寺
河渡
加納
鵜沼
太田
伏見
御嶽
細久手
大湫
大井
中津川
落合
馬籠
妻籠
三留野
野尻
須原
上松
福島
宮ノ越
藪原
奈良井
贄川
本山
洗馬
塩尻
下諏訪
和田
長久保
芦田
望月
八幡
塩名田
岩村田
小田井
追分
沓掛
軽井沢
坂本
松井田
安中
板鼻
高崎
倉賀野
新町
本庄
深谷
熊谷
鴻巣
桶川
上尾
大宮
浦和
蕨
板橋
日本橋

中山道（東信州）……中山道（東信州）

中山道（江戸）

軽井沢宿

・こま犬
・石の風車
軽井沢町指定文化財

長野県 | 群馬県

遊歩道
道標

133

行止り（通行不可）

旧中山道碓氷峠
道跡標識

見晴台
View Point

熊野皇大神社
（熊野神社）

松井田峠

熊野皇大神社

新宮、本宮、那智の3つの社殿が群馬との県境にまたがって建っている。
（海抜1,208m）

熊野皇大神社　　熊野神社

※熊野皇大神社（熊野神社）は、長野県と群馬県の県境にあり、このふたつの名前をもっている。

江戸から数えて18番目の軽井沢宿は、長野県側の入口となります。碓氷峠の頂上は、手前の坂本宿からの標高差13kmあり、道中は険しい山道を登る難所でした。

峠の頂上は、関東平野や富士山を見渡すことができ、その景色は当時の旅人達も眺めていたことでしょう。

軽井沢宿は現在旧軽井沢銀座とよばれ、当時の宿場の面影は薄くなりつつも、今でも大勢のお客で賑わう観光地となっています。

十八番 軽井沢宿

※（本陣1、脇本陣4、旅籠21）

※本陣・脇本陣・旅籠数の表記について

天保14年（1843年）「中山道宿村大概帳」に載せられた数字をもとに記載しております。

BS バス停
CVS コンビニ
トイレ
View Point 眺めが良い

遊歩道
道標

遊歩道

つるや旅館

軽井沢ショー記念礼拝堂

二手橋

芭蕉句碑

明治天皇行在所

本陣

脇本陣

・江戸屋 ・三度屋
・佐　忠 ・丁字屋

軽井沢観光会館
（有料トイレ有）

チャーチストリート軽井沢

万平ホテル

雲場池

View Point

133

六本辻

至 軽井沢駅

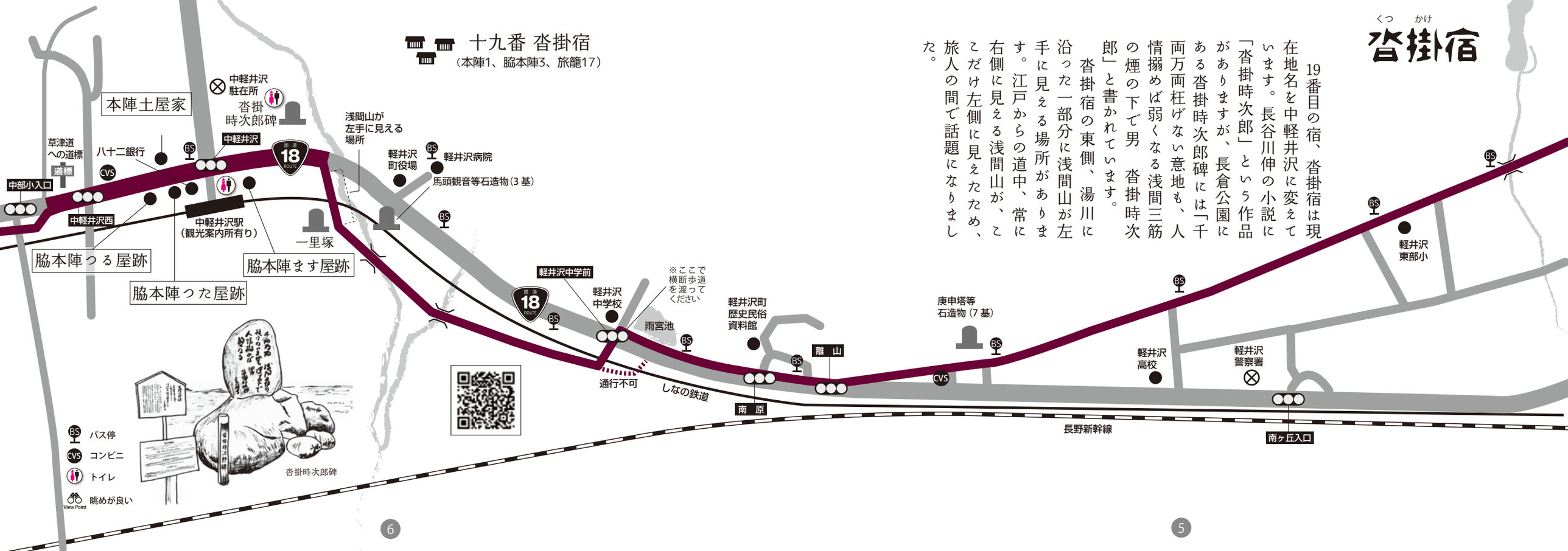
東信州中山道ウェブサイトで、各地の情報をご案内しています。
左の QR コードから、サイトへアクセスしてご覧ください。
http://www.higashisinshu_nakasendo.com/

沓掛宿（くつかけ）

19番目の宿、沓掛宿は現在地名を中軽井沢に変えています。長谷川伸の小説に「沓掛時次郎」という作品がありますが、長倉公園にある沓掛時次郎碑には「千両万両枉げない意地も、人情搦めば弱くなる浅間三筋の煙の下で男　沓掛時次郎」と書かれています。

沓掛宿の東側、湯川に沿った一部分に浅間山が左手に見える場所があります。江戸からの道中、常に右側に見える浅間山が、ここだけ左側に見えたため、旅人の間で話題になりました。

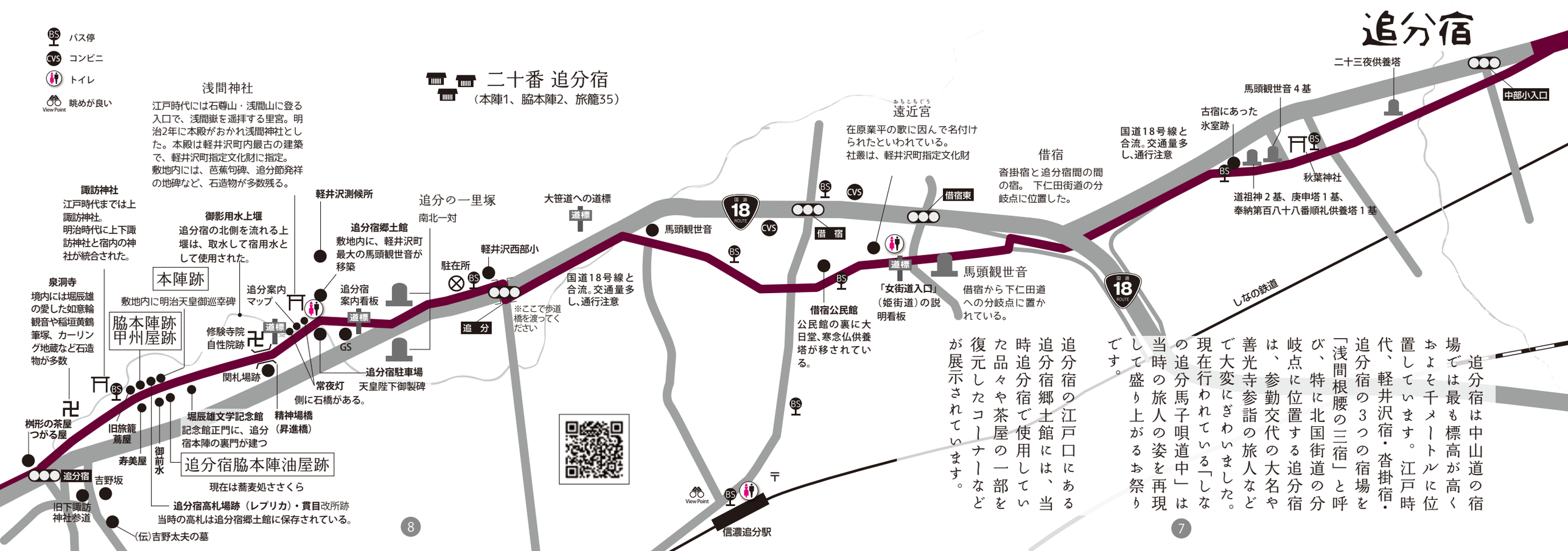
十九番 沓掛宿
（本陣1、脇本陣3、旅籠17）



追分宿

追分宿は中山道の宿場では最も標高が高くおよそ千メートルに位置しています。江戸時代、軽井沢宿・沓掛宿・追分宿の3つの宿場を「浅間根腰の三宿」と呼び、特に北国街道の分岐点に位置する追分宿は、参勤交代の大名や善光寺参詣の旅人などで大変にぎわいました。現在行われている「しなの追分馬子唄道中」は当時の旅人の姿を再現して盛り上がるお祭りです。

追分宿の江戸口にある追分宿郷土館には、当時追分宿で使用していた品々や茶屋の一部を復元したコーナーなどが展示されています。



追分の分去れ

浅間山

国道18 ROUTE

（北国街道）

庚申塚公園
庚申塚や二十三夜塔などの石造物やシャーロックホームズの銅像が建つ

※ここで横断歩道を渡ってください

浅間サンライン入口

中山道69次資料館

道標

分去れ

中山道と北国街道の分岐点。延宝7年（1679）に建立された道標をはじめ・常夜燈・森羅亭万象の狂歌碑・子育て地蔵・勢至菩薩・馬頭観音・廻国塔の7基の石造物が現存する軽井沢町指定文化財

信号「浅間サンライン」手前に「旧中山道」の標識

テニスコート

御影用水温水路
（千ヶ滝湯川用水温水路）
約1kmの温水路。ここを過ぎると御代田町に入る。

道標

小田井宿まつり

文久元年（1861）皇女和宮が徳川家茂に降嫁する道中、小田井宿本陣にお立ち寄りになり、給仕した少年が童子の人形を拝領したと伝えられています。

毎年8月16日に開催される小田井宿まつりはその様子を再現し、和宮に扮した少女と、拝領した童子の人形をかごに乗せ、当時を偲ばせる衣装を身に着けた行列が、宿場内を練り歩く地域住民の手作りのまつりとして有名です。

皇女和宮拝領人形

エコール みよた

旭町

役場入口

CVS

薬局

薬局

駅入口

御代田駅

御代田町役場

御代田の一里塚

交番

BS

BS

八十二銀行

交通記念館

大山神社

現在は通行不可

道標

BS

線路地下道をくぐる

栄町

御代田中学校入口

しなの鉄道

御代田中学校

CVS

BS バス停

CVS コンビニ

トイレ

View Point 眺めが良い

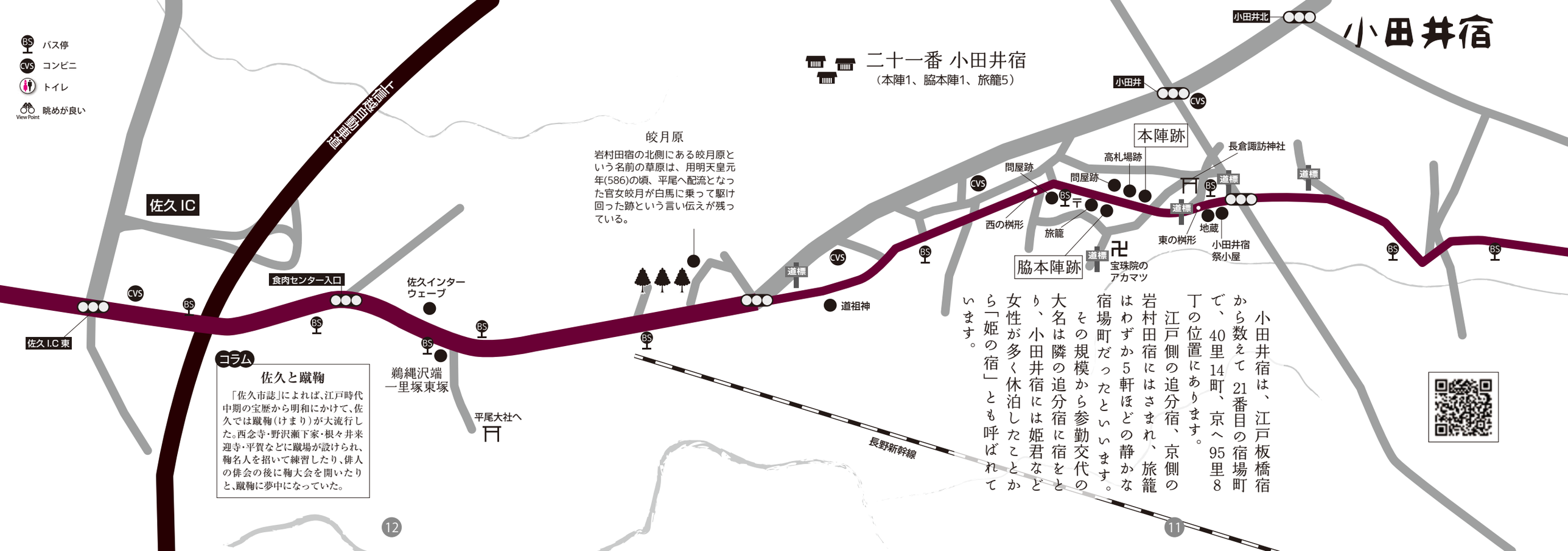
小田井宿

二十一番 小田井宿
（本陣1、脇本陣1、旅籠5）

小田井宿は、江戸板橋宿から数えて21番目の宿場町で、40里14町、京へ95里8丁の位置にあります。

江戸側の追分宿、京側の岩村田宿にはさまれ、旅籠はわずか5軒ほどの静かな宿場町だったといいます。

その規模から参勤交代の大名は隣の追分宿に宿をとり、小田井宿には姫君など女性が多く休泊したことから「姫の宿」とも呼ばれています。

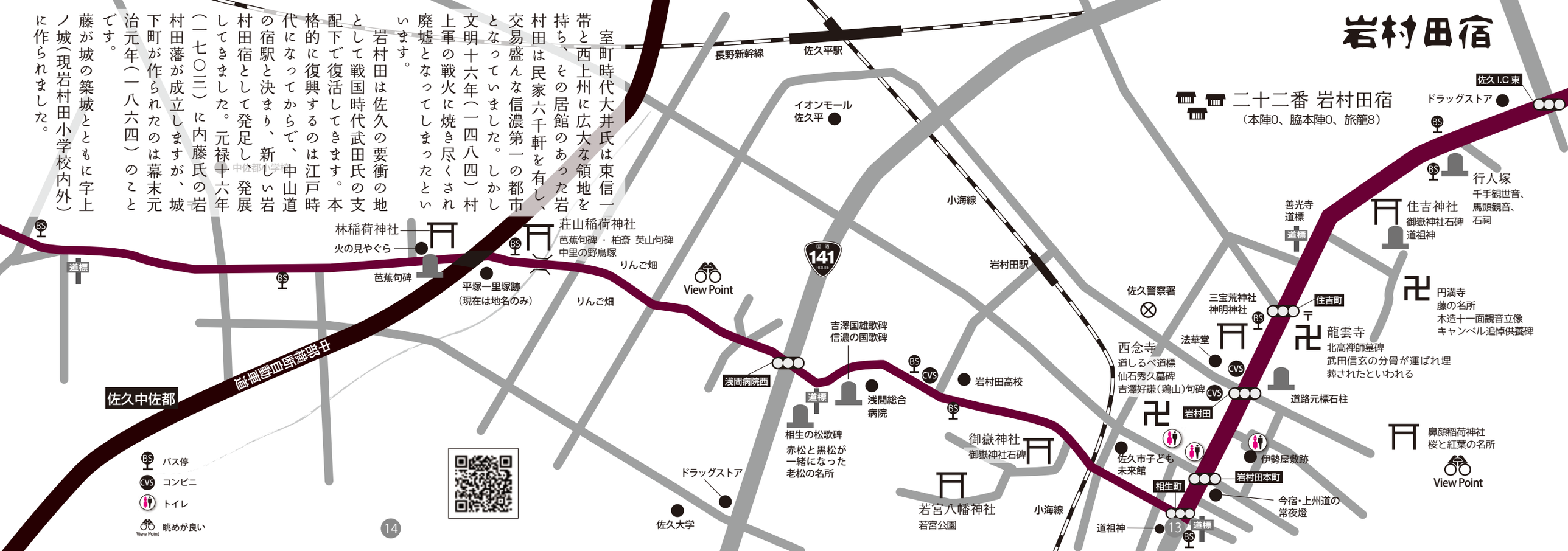


岩村田宿

室町時代大井氏は東信一帯と西上州に広大な領地を持ち、その居館のあった岩村田は民家六千軒を有し、交易盛んな信濃第一の都市となっていました。しかし文明十六年（一四八四）村上軍の戦火に焼き尽くされ廃墟となってしまったといいます。

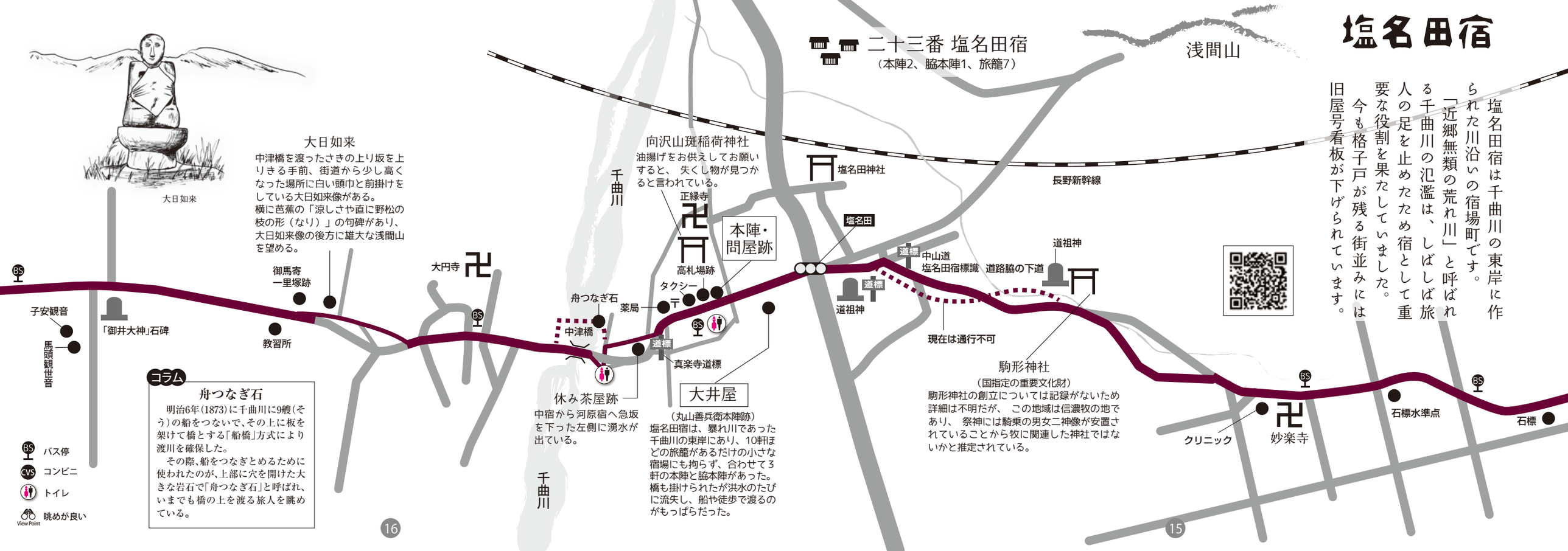
岩村田は佐久の要衝の地として戦国時代武田氏の支配下で復活してきます。本格的に復興するのは江戸時代になってからで、中山道の宿駅と決まり、新しい岩村田宿として発足し、発展してきました。元禄十六年（一七〇三）に内藤氏の岩村田藩が成立しますが、城下町が作られたのは幕末元治元年（一八六四）のことです。

藤が城の築城とともに字上ノ城（現岩村田小学校内外）に作られました。



塩名田宿

塩名田宿は千曲川の東岸に作られた川沿いの宿場町です。「近郷無類の荒れ川」と呼ばれる千曲川の氾濫は、しばしば旅人の足を止めたため宿として重要な役割を果たしていました。
今も格子戸が残る街並みには旧屋号看板が下げられています。



コラム

舟つなぎ石

明治6年（1873）に千曲川に9艘（そう）の船をつないで、その上に板を架けて橋とする「船橋」方式により渡川を確保した。

その際、船をつなぎとめるために使われたのが、上部に穴を開けた大きな岩石で「舟つなぎ石」と呼ばれ、いまでも橋の上を渡る旅人を眺めている。

BS バス停
CVS コンビニ
トイレ
View Point 眺めが良い

二十四番 八幡宿
（本陣1、脇本陣4、旅籠3）

八幡宿（やわた）

高良社（旧本殿）
（国指定の重要文化財）
蓬田の八幡神社の境内にある社。延徳三年（1491年）望月城の城主滋野遠江守光重を中心に御牧郷の総社として建立された。

八幡神社（はちまん）
端垣門（みずがきもん）が宝永5年（1708）、随身門（ずいじんもん）が天保14年（1843）に建立された。額殿には安永9年（1780）に奉納された県下最古の算額がある。

常泉寺

「生井大神」石碑

浅科支所前

馬頭観世音

佐久市役所
浅科支所

「生水大神」石碑

薬局

八幡本陣跡（小松家）

問屋・脇本陣跡

八幡中町

馬頭観世音

八幡西

道標

国道142 ROUTE

百沢東

浅科中学校

八 幡

あさしな温泉
穂の香乃湯

道の駅
ほっとぱ～く・浅科

View Point 田園風景と浅間山

八幡宿は、周辺の八幡・蓬田（よもぎだ）・桑山地域の住民が移住してつくられました。千曲川を渡り、わずか27町の距離に八幡宿があります。両宿場の間を千曲川が流れているため、宿場間の距離がきわめて短くなっています。また、八幡宿の東側はのちに市川五郎兵衛によって開発された「五郎兵衛新田村」の下原であり、強粘土質の水田に適した土壌でもあります。

文久元年（1861）、中山道を下ってきた皇女和宮の一行は、11月6日に和田宿に宿泊し、翌7日に芦田宿で昼休みをし、八幡宿へ宿泊しています。代々、本陣・問屋を務めた小松家には、和宮から下賜された折り紙なども伝えられています。

コラム

瓜生坂（うりゅう）

東の瓜生坂峠はその先で甲州道が分かれており、北へ行くと北国街道の田中宿があり、上田城下や祢津町陣屋へつながっています。

祝言道祖神

祝言道祖神

宮廷貴族風の衣装をまとった男女が祝言を挙げ、酒を酌み交わす双体道祖神の顔はどちらも細面で優しく美しさに満ちており、民衆の素朴な道祖神というより気品を感じる貴重な道祖神

布施温泉入口

瓜生坂一里塚

旅人の目印として設置された一里塚。大木が植えられ、木陰で休息が取れるように配慮されていた。

むらおこし道祖神

現在は通行不可

馬頭観世音

瓜生坂石仏

瓜生坂の碑

望月周辺には、多くの双体道祖神が遺されており、高遠石工の手になる秀作を見ることができる。元禄10年（1697）建立の「中仙道道標」も見逃せない。表記が「中仙道」となっているのは、「中山道」に統一された正徳6年（1716）以前に建立されたためである。瓜生坂は古代の東山道にあたり、遺跡も発見されている。

望月宿

二十五番 望月宿

（本陣1、脇本陣1、旅籠9）

望月は宿場とともに清和天皇（876年）の頃からの駒の里であり、八月の満月の日に朝廷へ名馬を納めたことが望月の地名の由来と言われています。紀貫之など多くの歌人に詠まれ、古くから親しまれている場所でもあります。本陣・問屋の門構えや玄関付きの180坪の建物は、現在「望月歴史民俗資料館」として使われています。

真山家住宅 大和屋

（国指定の重要文化財）

類焼により明和3年（1765年）に再建されたもの。2階が1階よりも前方に突き出た出桁（だしげた）造りは再建以来手が加えられていない。

城光院

この地に古くから勢力を張った望月氏と関係が深い寺。望月氏宝篋印塔や境内に佇む青面金剛像の姿に年月を感じる。

信永院

天文元年（1532年）望月左衛門尉信永の開基と伝わる。本堂前に樹齢五百余年といわれる根元から十数本の幹を生じた珍しい榧の木がある。

脇本陣兼問屋

本陣大森家

大伴神社

延喜式佐久三社（英多・長倉・大伴）のうちの一社。榊祭りは大伴神社の例祭といわれ、今でもその境内で奉納がとりおこなわれる。

蟠龍窟・弁財天

この弁財天は永世年中（1504-1521）信永院開山道厳禅師が、琵琶湖の竹生島より勧請したと伝えられる。

長坂の馬頭観世音道祖神・石仏群

望月バスターミナル

民俗資料館

佐久市役所望月支所

望月高校

川西赤十字病院

望月警部交番

公園

御桐谷西

御桐谷

望月宿西口

望月宿入口

19

茂田井間の宿

茂田井村は「間の宿」と呼ばれ、旅籠を持たない休息処でした。これは幕府による本宿保護のために出した禁令によって、本宿以外での宿泊を取り締まったためです。

元禄二年（1689）名主市郎右衛門が酒造りをはじめ、現在は大澤酒造と武重本家酒造の2軒の造り酒屋があり、武重本家酒造の通りに面した蔵の敷地には若山牧水の歌碑があります。

いまでも古い街並みがそのまま残る茂田井間の宿は、旅人を魅了し続けています。

武重本家酒造（株）

茂田井間の宿にある造り酒屋。江戸後期の住宅や明治初期の酒蔵などが国の登録有形文化財となっている。

大澤酒造（株）

蓼科山の伏流水、地元の豊富な米と酒造りに適した自然環境にも恵まれた茂田井で元禄二年（1689年）より酒造り。酒蔵を改装して、酒造りや街道文化の資料を展示した民俗資料館や名主の館、書道館、美術館がある。

諏訪社

祭神は建御名方命、出雲系諏訪族の祖先として、諏訪上下２社に奉斎され、古くは南宮ともいった。諏訪神社を中心とする諏訪信仰は全国的であり、その分社・末社は5076社といわれている。

現在の社殿は文化15年（1818）茂田井の宮大工田中円蔵が建てたもので、上屋の中の本殿は一間社流造りで外周が見事な彫刻で飾られている。

神楽殿は、回り舞台にもなっており、現存する立科町唯一のもの。

正面大鳥居をくぐり、すぐ左側には松尾芭蕉の「山路来て何やら床しすみれ草」の句碑がある。

神明社

祭信は天照大神、雨乞いの霊験として崇拝されている。

宝永六年（1709年）茂田井村初代名主となった大澤茂右衛門が願主となり建立された。

本殿は神明造でこの地方では珍しい存在である。

若山牧水句碑

酒好きで有名な牧水。望月には、そこそこ牧水の足跡が残る。

石祠

濁池

石仏

古峰神社

間の宿看板

石割板

芭蕉の碑

茂田井一里塚跡

駐在所

茂田井の桜並木

無量寺

長保５年（1003）創建と伝えられる天台宗比叡山延暦寺の末寺、本尊は薬師如来座像で２尺８寸４分の檜造り脇侍に日光・月光両菩薩を持つ室町時代の作。表情が異なる六地蔵は貴重な石造物。

BS バス停

CVS コンビニ

トイレ

View Point 眺めが良い

20

芦田宿 笠取峠

中山道 26番目の芦田宿は、芦田(依田)氏の浪人、岩間忠助と土屋右京野左衛門が、神官今井曽五郎とともに、慶長二年(1597年)に蓼科神社に納めた文書(願文)により、新駅の設立を願い出たことが伺えます。

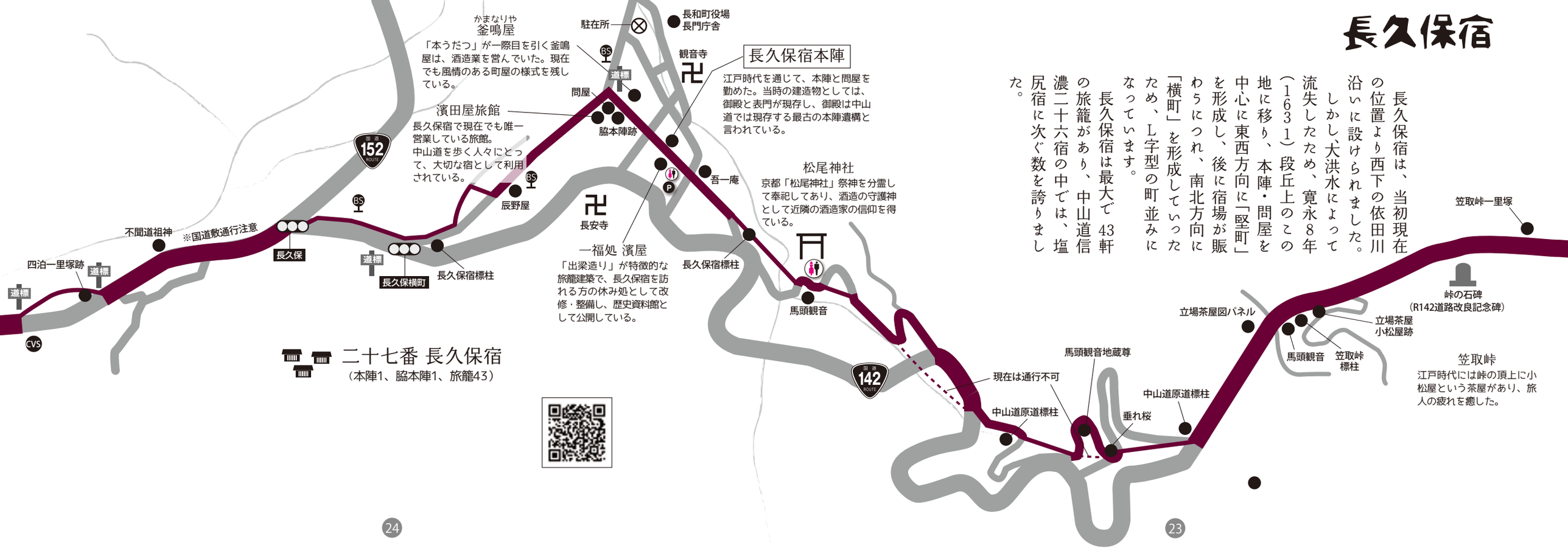
このことから北佐久地域では最古の宿場とも云われています。江戸時代、徳川幕府の植樹政策により街道沿いに松や杉が植えられ、笠取峠のマツ並木の景観は往時の中山道を偲ばせてくれます。時代の変遷とともに、建物は老朽化が進み、保存が困難となり、時には火災により焼失したものもありますが、その中で現在にその形を残し伝えるものに寛政12(1800)年に改築させた本陣があります。

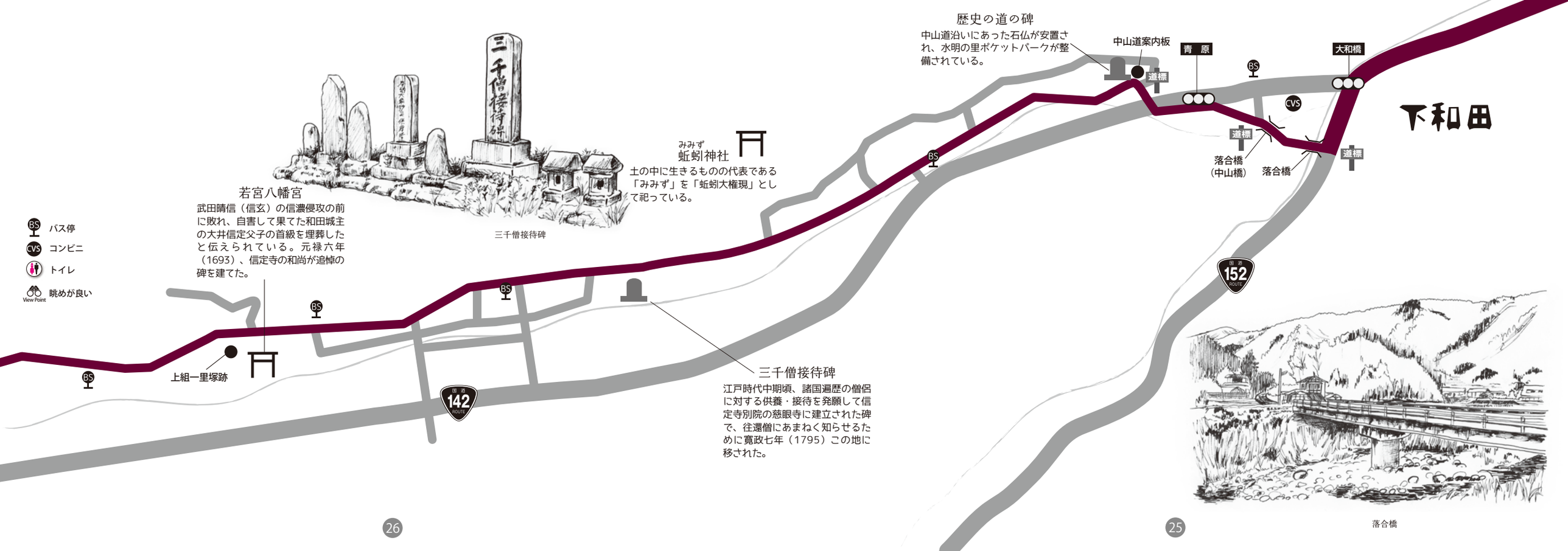
長久保宿

長久保宿は、当初現在の位置より西下の依田川沿いに設けられました。

しかし、大洪水によって流失したため、寛永8年（1631）段丘上のこの地に移り、本陣・問屋を中心に東西方向に「堅町」を形成し、後に宿場が賑わうにつれ、南北方向に「横町」を形成していったため、L字型の町並みになっています。

長久保宿は最大で43軒の旅籠があり、中山道信濃二十六宿の中では、塩尻宿に次ぐ数を誇りました。




歴史の道の碑
中山道沿いにあった石仏が安置され、水明の里ポケットパークが整備されている。
中山道案内板
道標
青　原
BS
大和橋
CVS
下和田
道標
落合橋
（中山橋）
落合橋
道標
BS
国道
152
ROUTE
落合橋
みみず
蚯蚓神社
土の中に生きるものの代表である「みみず」を「蚯蚓大権現」として祀っている。
三千僧接待碑
若宮八幡宮
武田晴信（信玄）の信濃侵攻の前に敗れ、自害して果てた和田城主の大井信定父子の首級を埋葬したと伝えられている。元禄六年（1693）、信定寺の和尚が追悼の碑を建てた。
BS
BS
BS
BS
上組一里塚跡
国道
142
ROUTE
三千僧接待碑
江戸時代中期頃、諸国遍歴の僧侶に対する供養・接待を発願して信定寺別院の慈眼寺に建立された碑で、往還僧にあまねく知らせるために寛政七年（1795）この地に移された。
BS
バス停
CVS
コンビニ
トイレ
View Point
眺めが良い

和田宿

二十八番 和田宿
（本陣1、脇本陣2、旅籠28）

中山道の最高地点にして、最大の難所と言われた和田峠（標高約1600m）を控えた和田宿は、隣の下諏訪宿まで5里18町（約22km）、峠との標高差は約800mほどもあったため、逗留する諸大名らの行列や旅人も多く、長久保宿と同様に、信濃二十六宿のなかでは規模の大きい宿場町でした。

幕末の文久元年（1861）3月、本陣ほか宿場の大半が火災で焼失してしまいますが、この年の11月には皇女和宮の御下向が控えていたことから、幕府より二千両ほど拝借し、街並みを復興させ、この大行列を無事に迎えました。

歴史の道資料館かわちや
（国史跡）

和田宿の旅籠のうちでは、規模が大きく、出桁造りで格子戸のついた代表的な遺構である。大火後に再建されたものだが、幕末の建築様式をよく伝えている。「歴史の道整備事業」により、資料館として復元された。

和田宿本陣
（国史跡）

文久元年（1861）3月、和田宿の大火で焼失したが、同年11月の和宮降嫁を受けて再建された。明治維新後は役場などに使用されていたが、昭和61年から5ヶ年をかけて、往時の姿に復元された。出桁造りの間口12間・奥行9間に及ぶ宿場最大の建造物。

八幡神社

和田城主大井氏の居館の鬼門除けにつくられたとの伝承がある。本殿は江戸時代中期の作と推定されている。

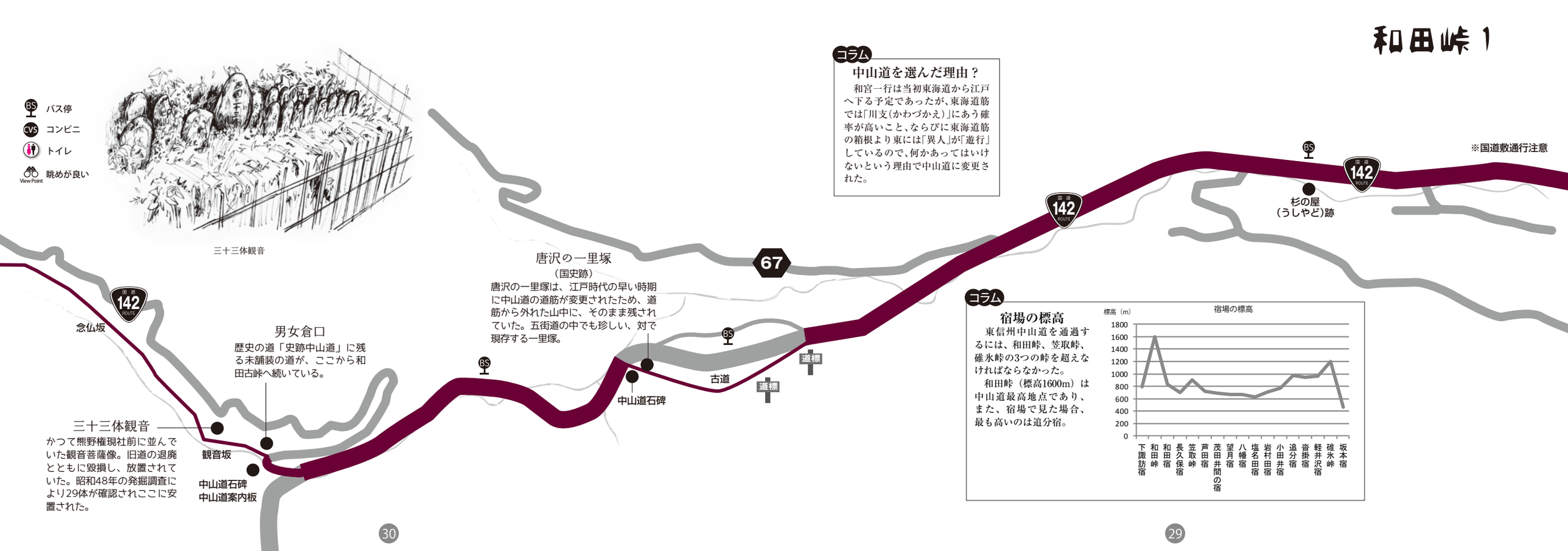
米屋鐵五郎

コラム

黒耀石（こくようせき）

和田峠といえば黒耀石の名前を聞いたことがある人も多いだろう。和田峠の男女倉の地籍は、黒耀石を原材料とする石器が多く出土することから、早くから旧石器時代の重要な遺跡として注目されてきた。和田宿にある黒耀石石器資料館には、この男女倉遺跡から出土した石器を展示し、旧石器時代の人々が使用した石の道具（石器）から、古人の技術力や当時の人々の生活をうかがい知ることができる。

和田峠 1



コラム

中山道を選んだ理由？

和宮一行は当初東海道から江戸へ下る予定であったが、東海道筋では「川支（かわづかえ）」にあう確率が高いこと、ならびに東海道筋の箱根より東には「異人」が「遊行」しているので、何かあってはいけないという理由で中山道に変更された。

コラム

宿場の標高

東信州中山道を通過するには、和田峠、笠取峠、碓氷峠の3つの峠を超えなければならなかった。

和田峠（標高1600m）は中山道最高地点であり、また、宿場で見た場合、最も高いのは追分宿。

和田峠 2

BS バス停
CVS コンビニ
トイレ
View Point 眺めが良い

下諏訪町　長和町

西餅屋

西餅屋は、中山道下諏訪宿と和田宿の峠路に設けられた「立場」。ここには茶屋本陣の小口家と武居家・犬飼家・小松家の四軒があり、ときには穀留番所が置かれた。現在は、道の「曲之手」と茶屋跡が残っている。

一里塚
（五十三里塚）

新和田トンネルへ

石小屋跡

馬頭観音

中山道案内板

賽の河原

中山道石碑

御嶽山遥拝所

View Point

和田峠（古峠）

和田宿から下諏訪宿までは、五里十八町（約22km）長い道程。しかも中山道最高地点（標高1600m）にして五街道のなかでも最高地点となる和田峠は、急坂が多く降雪の際はもとより雨や霧の日も旅人は難渋した。峠の頂上には御嶽山遥拝所碑や馬頭観世音、賽の河原地蔵が建立されている。

旧和田トンネル

※ビーナスライン接断注意

道標　道標　道標　道標　道標

農の駅

東餅屋茶屋跡

和田峠には、唐沢・東餅屋・西餅屋・樋橋・落合に茶屋があり、旅人の休息所になっていた。東餅屋では、五軒の茶屋があり、寛永年間より一軒に一人扶持（1日玄米五合）が与えられ、旅人の救助にもあたった。幕末には大名休息のための茶屋本陣も置かれた。

東餅屋の一里塚

江戸から五十二里にあたる一里塚。広原一里塚とも呼ばれている。

石畳の道

和田峠の峠道は、ガレ場が多く旅人も通行に難儀していました。この石畳は、古くからあったものを「歴史の道」として整備したもの。

長坂

赤坂

道標　接待

近藤巡査慰霊碑

中山道石碑

道標

永代人馬施行所

（国史跡）

江戸呉服町の豪商かせや与兵衛が幕府に寄付した金千両より、利子の半分50両が下付され、文政十一年（1828）に設置された。11月から3月まで峠を越える旅人に粥と焚火を、牛馬には年中小桶1杯の煮麦を施行した。

永代人馬施行所

バス路線図

■バス会社連絡先

・軽井沢交通バス（旧軽井沢～碓氷峠・見晴台）
　TEL：0267-42-5538　軽井沢観光会館
・軽井沢町内循環バス（東廻り・南廻り）
　TEL：0267-45-5045　西武高原バス(株)軽井沢営業所
・軽井沢町内循環バス（西コース）
　TEL：0267-22-2100　千曲バス(株)小諸営業所
・千曲バス（佐久御代田線・中仙道線）
　TEL：0267-62-0081　千曲バス（株）本社
・佐久市内巡回バス（中佐都線）
　TEL：0267-62-3094　佐久市 生活環境課 生活公共交通係
・和田峠北線
　TEL：0267-22-0588　ジェイアールバス関東（株）小諸支店
・長和町内巡回バス（学者村方面・男女倉方面）
　TEL：0268-68-3111　長和町役場 長門庁舎
　TEL：0268-88-2345　長和町役場 和田庁舎

■タクシー会社

＜軽井沢＞

浅間観光タクシー	TEL：0267-45-5264
軽井沢観光タクシー	TEL：0267-45-5408
第一交通	TEL：0267-42-2221
ますや交通	TEL：0267-45-5223
松葉タクシー	TEL：0267-42-2181

＜御代田＞

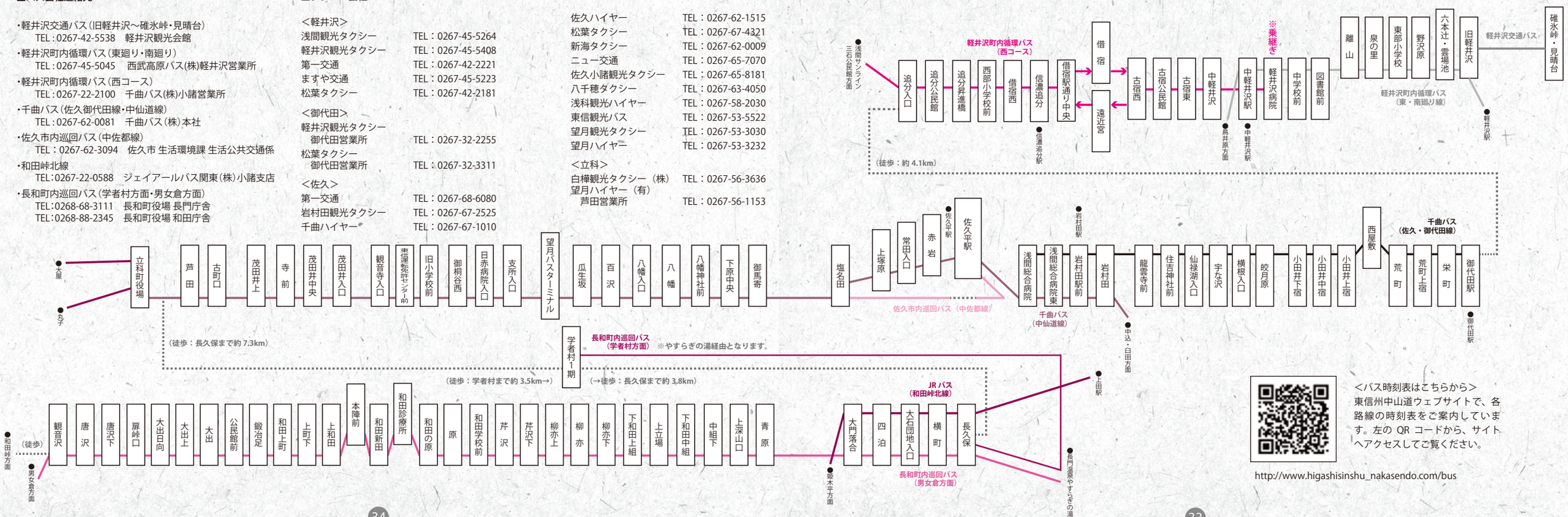
軽井沢観光タクシー 御代田営業所	TEL：0267-32-2255
松葉タクシー 御代田営業所	TEL：0267-32-3311

＜佐久＞

第一交通	TEL：0267-68-6080
岩村田観光タクシー	TEL：0267-67-2525
千曲ハイヤー	TEL：0267-67-1010
佐久ハイヤー	TEL：0267-62-1515
松葉タクシー	TEL：0267-67-4321
新海タクシー	TEL：0267-62-0009
ニュー交通	TEL：0267-65-7070
佐久小諸観光タクシー	TEL：0267-65-8181
八千穂タクシー	TEL：0267-63-4050
浅科観光ハイヤー	TEL：0267-58-2030
東信観光バス	TEL：0267-53-5522
望月観光タクシー	TEL：0267-53-3030
望月ハイヤー	TEL：0267-53-3232

＜立科＞

白樺観光タクシー（株）	TEL：0267-56-3636
望月ハイヤー（有） 芦田営業所	TEL：0267-56-1153



＜バス時刻表はこちらから＞
東信州中山道ウェブサイトで、各路線の時刻表をご案内しています。左の QR コードから、サイトへアクセスしてご覧ください。

http://www.higashisinshu_nakasendo.com/bus

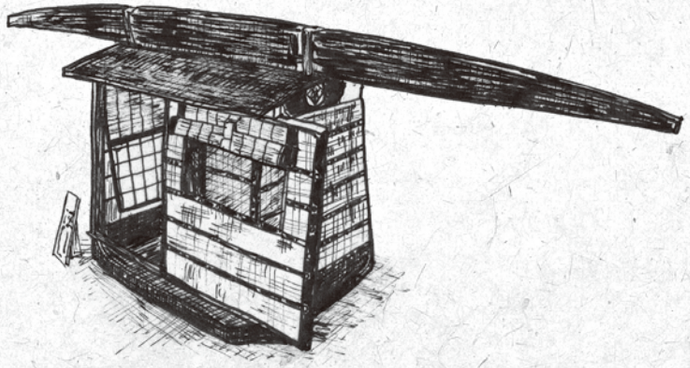
観光のご案内

・軽井沢宿
・沓掛宿
・追分宿

【観光案内はこちら】
軽井沢観光案内所（軽井沢駅内）
☎０２６７－４２－２４９１
軽井沢観光案内所（くつかけテラス内）
☎０２６７－４５－６０５０
軽井沢観光会館（旧軽井沢）
☎０２６７－４２－５５３８
【グルメ情報・宿泊情報はこちら】
http://karuizawa-kankokyokai.jp/
【歴史を知る！】
軽井沢・沓掛　歴史民俗資料館
☎０２６７－４２－６３３４
追分宿　郷土館
☎０２６７－４５－１４６６

・小田井宿

【観光情報はこちら】
御代田町観光協会
http://www.miyota.gr.jp/
【歴史を知る！】
浅間縄文ミュージアム
http://w2.avis.ne.jp/~jomon/



小田井宿のパンフレットももらえますよ～

・岩村田宿・塩名田宿・望月宿・茂田井間の宿

【プラザ佐久　観光案内処】
☎０２６７－７８－３３４６
http://www.shinkou-saku.or.jp/plazasaku
【岩村田コンシェルジェ　よろず案内処】
佐久市岩村田７６４－１　☎０２６７－７８－３３４６
営業時間　11時～16時
【歴史を知る！】
望月歴史民俗資料館
☎０２６７－５４－２１１２
【グルメ情報】
おすすめ！佐久のグルメ味処
http://www.b-break.com/ajidokoro/
【信州みそ発祥の地佐久　安養寺ら～めん】
http://anyouji-ramen.com/
【お泊りはこちら！佐久市の宿泊情報】
http://www.city.saku.nagano.jp/kankou-k/stay/index.html

・芦田宿

中山道街道の各所から宿泊施設への送迎をいたします！

詳しくはお問い合わせください。

「蓼科白樺高原観光協会」

☎０２６７－５５－６６５４

http://www.shirakabakogen.jp/nakasendo(仮ＵＲＬ)

・長久保宿

【観光情報・グルメ情報はこちら】

★信州・長和町観光協会

http://www.nagawa.info/

★長和町商工会

http://www.nagawa-sci.jp/

・和田宿

【ご宿泊】

ホームページより検索できます！！

http://www.nagawa.info/modules/db/　★無料送迎もあります！

【グルメがもりたくさん！】

★ほうとう、ジビエ料理・中仙道（四泊一里塚付近）

☎０２６８－６８－２９６５

営業時間　10時～15時

★そばガレット、カレー、喫茶・米屋鐵五郎本舗

☎０８０－１２１０－２３６０

営業時間　11時～17時

※12月下旬から3月末までは冬期休業になります。

★和田宿オムライス、和宮やきそば・・・ふれあい食堂

☎０２６８－８８－３０６０

営業時間　11時～21時

★ダッタンそば・そば処黒耀

☎０２６８－８８－３１６６　営業時間　11時～15時

【日帰り温泉施設】

◆疲れた身体を休ませる「ふれあいの湯」・和田宿本陣より徒歩で約15分

☎０２６８－８８－０００１

営業時間　10時～22時（受付時間21時30分まで）

http://www.nagawamachi.com/